



◆発行 行◆
鹿児島県隊友会
◆発行責任者◆
川畑初夫
◆印刷◆
(株)新生社
鹿児島市七ツ島

年頭の辞

隊友会員及びご家族の皆様には、おそろいで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます
我々隊友会員の故郷（ふるさと）である自衛隊は、昭和29年6月、防衛庁設置法と自衛隊法が国会で成立し、同年7月1日に施行されました。



我々隊友会も定款に基づき、国民と自衛隊とのかけ橋となり、防衛意識の普及高揚に努め、国の防衛及び防災施策、慰霊顕彰事業並びに地域社会の健全な発展に、より一層貢献することによって

年頭の挨拶

明けましておめでとうございます。

公益社団法人隊友会鹿児島県隊友会の皆様にはおだやかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

隊友会におかれましては、自衛隊の活動への協力や防衛意識の普及・高



我が国の平和と安全に關わって参りたいと思ひます。

我が国の平和と安全に關わって参りたいと思ひます。

さて政府は平成25年12月、平成26年度以降に係る防衛計画の大綱を閣議決定しました。この中で防衛力の役割5項目を示し、その一つとして、島しょ部に対する攻撃への対応を示しています。それは、この攻撃への三つの段階として①平素からの部隊等配置による抑止態勢の確立、具体的に与那国島に沿岸監視部隊を配置し、また島

災害が多発しています。このような中、自衛隊は、ソマリア沖の海賊対処行動や南スーダンの国土建設など、国際平和活動に積極的に取り組まれているとともに、広島

新年を迎えて

参議院議員



部会が国民と自衛隊とのかけ橋として、防衛意識の普及高揚を図つて

また海自部隊の増強・増勢、空自部隊の新編についても整備すること

以上のごときは、陸幕が作成した「強靱な陸上自衛隊の創造」と題するDVDに、映像と解説付き

鹿児島県隊友会の諸先輩方、明けましておめでとうございます。「空翔ぶ参議院議員」こと宇都

防政策と一体となった外交政策の推進に邁進してきたところ。鹿児島

米ガイドラインの発表、最終局面を迎えるTPP交渉の結末、歴史問題を背景に硬化しつつける日

回帰線

最近の映画で「永遠の0」というものが放映されている。百田尚樹の著書が原作であるが、仕事の関係で出張が多く移動間の暇つぶしに読んだのがこの本であつた。以来

提とともに、より明確化されました。自衛隊の活動は今後さらに、確たる成果をあげるべく一層の充実が求められること

鹿屋航空基地に勤務する隊員一同、まさにその最前線の要衝に働くものとして、24時間・365日、航空機の運用を通じて国と地域に貢献して



新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた平成27年の新春を、健やかに

鹿児島県隊友会の皆様には、平素から防衛意識の普及・高揚にご尽力

おきまして、皆様からは例年以上の温かいお心遣いを頂戴しました。その結果としてその一つ一つを成功に導くことができた

九州・沖縄ブロック研修

長崎地区開催

1月29日～30日
長崎県隊友会が担任した
「平成26年度九州・沖
縄ブロック研修会」に、
鹿児島県隊友会からは、
川畑会長以下20名が参
加した。



ご来賓と鹿児島参加者とのスナップ

29日開会行事終了後
研修会テーマ「公益目的
事業別取り組み（現状・
課題）」

防衛講演は、番匠西部
方面総監が「わが国の防
衛と西部方面隊」と題し
上海・台湾等から見た地
図を参考に、周辺国の軍
事情勢等から考察した西
方防衛担任地域の重要性
を説明、「2（南西防衛
体制の充実）+1（南海

「隊友さつま」の想い出

鹿児島地区協議会 麓川昭憲

「隊友さつま」は、現
在、A2版で字も大きく
写真、広告も多く、印刷
も立派なもので、読みや
すくなっています。

本機関誌が発行（再興
）されたのが平成19年
と数年前で、長らく続い
た中原会長体制を受け継
いだ北井上会長の発案に
よるものであることを覚
えている会員も少なくな
りつつあるのではないで
しょうか？



鹿児島市中央支部 麓川昭憲氏

北井上会長体制になっ
て会務を組織的に行う
活動活性化のための①情
報共有化（会員相互の情
報発信の場）と②本部・
支部間の意思疎通を図り
たいとの狙いで始まり、
岩切編集長の尽力により
H19年度は3回、H2
0年度は5回、H21年

家族雑感



子氏律広末 隼人支部

私達夫婦は「性
格が正反対」です
が、持ち場、持ち
場で頑張っている
場です。最近、隊友会隼
人支部にも女性の参加を
との話しが出ています。女性
ですが大賛成です。女性
が気づいた事などどん
どん取り入れもつとつと
魅力ある会にして頂き
たいものです。

平成24年10月主人
が入院する事になり、私
にドーンと重荷がかかっ
てきました。その後、3
回の入院で目下落ち着
いており、二人で一日一
日を無理せず過ごしてい
ます。子供達も主人が大
病で入院した事にビツク
りしていましたが、親を
思う気持ちの子を思う気持
ちは大切にしたいもので
す。

長男があと10年した
ら定年ですが、二人とも
生きているやら？？、
でも、まだまだ頑張らな
ければと思います。目下
主人74歳、私69歳。

息子3人も、航空自衛
官となり、各々ちゃんと
やっているようです。
私は、自衛隊父兄会の
達で処置！」せざるを得
なくなりました。当初、
地方連絡部の片隅で作業
しました。が、それもまま
ならず、筆者の勤
務していた第一工大の実
験室で新聞等発送業務を
したことが思い出されま
す。当時、協力頂いた方
々には今でも感謝の気持
で一杯です。

現在、隊友新聞や各種
配布物は、定期的に自宅
の郵便受けに投函されま
すが、これらを区分、発
送、配達して頂いている
隊友の存在を忘れてはい
けません。彼らの献身的
な活動により、支部や分
会の活動が支えられてい
ると言っても過言ではな
いと思います。当時は、
名簿・新聞等「隊友会活
動」は地方連絡部の全面
的な支援を仰いでおり、
援護課の担当係が献身的
に支えてくれていました
ところが、ある事件と組
織改編を契機に隊友会へ
の支援が先細りになり、
隊友会は自前で労力を捻
出して「会のことは自分
達で処置！」せざるを得
なくなりました。当初、
地方連絡部の片隅で作業
しました。が、それもまま
ならず、筆者の勤
務していた第一工大の実
験室で新聞等発送業務を
したことが思い出されま
す。当時、協力頂いた方
々には今でも感謝の気持
で一杯です。

尺八と私



氏男民神石 隼人支部

私と尺八との出会いは
昭和47年4月幹部候補
生学校入校時、精神教育
の時間に区隊長が、学生
全員を瞑目させ「君が代
」を尺八で吹きました。
それを聞いていたと心が
落ち着き、これこそ日本
人の心に相応しいと思っ
たのです。
それから、区隊長に手
ほどきを受け
ました。が、な
かなか音がで
ず大変苦労
しました。幹
候校を卒業
後は、尺八教本による独
習となり、歌謡曲など吹
いていました。
それから11年後、朝
霞駐屯地勤務の折、都山
流の師匠に本格的に習い
始めました。朝霞邦楽連
盟に所属し、吹奏が面白
くて熱中するとともに仲
間も多く上達も早かった
ように思います。
その後、旭川勤務とな
り、そこでも新師匠に付
き、本曲や古典曲を学び
師範試験に向けて猛勉強
し、お陰様で試験に合格
し、努力が報われたと感
謝しています。

県GG大会盛

平成26年度鹿児島県
隊友会グラウンドゴルフ
大会が11月8日霧島市
国分下井浜公園で盛大
に開催された。

当大会も今回で11回
となり参加チームも50
チーム（260人）で、
増加の一途となり県の一
大イベントとして定着し
和気あいあいの中、熱戦
を繰り広げた。国分・隼
人支部で大会を運営した
が、大所帯で慣れな
ところもあり、迷惑をかけ
た点については反省して
次の大会に反映させたい
隊友会は一国民と自衛
隊の架け橋」。相互の理
解を深め、国の平和と安
全を守るため、防衛意識
の普及高揚に努める事が
大事。そのためにはこの
ような大会や各種行事に
積極的に参加して、みん
なの輪、和、話を広げる
事だと思ふ。

この大会を通じて会員
が健康の維持・増進及び
家族会員、友人、知人等
が健康の維持・増進及び



団体の部 表彰式

支部相互の
親睦を図れ
た事は大き
な成果であ
ったと思ふ

加治木支部
後藤 秀行

国分支部
藤田 重良

富ヶ原 寛治
上野 清治

さつま支部
祝迫 直

南さつま支部

晴れの受章
おめでとう

◎叙勲受章
（春の叙勲）

★瑞宝双光章
（危険業務）

長 直光 殿

川 辺（空） 殿

金田 憲治 殿

小 城 悟 殿

伊 佐（陸） 殿

浜崎 泰 殿

★瑞宝単光章
（危険業務）

川内田末義 殿

薩摩川内（陸）
大庵 孝志 殿

さつま（陸）
田ノ上琢朗 殿

出水（陸）
東原 和志 殿

知 覧（陸）
志々目 智 殿

◆出水（海）

【県本部からのお知らせ】

- ホームページを更新
1 検索「鹿児島県隊友会」
2 アドレス「http://kagoshi
maken-taiyu.jp/」
○ 県隊友会定期総会
1 時期：27.5.24(日)午後

【囲碁大会のお知らせ】

- 時 期：H27.2.8(日)
○ 場 所：霧島市国分
シビックセンター
○ 参加費：無料
弁当等個人準備
○ 申 込：国分事務局長
後村氏(0995-47-0031)

【訂正のお知らせ】

- 第31号3面 全国
隊友会長表彰
個人の部氏名 国分支部
多久見信義 →
田久見信義へ

演習研修所

鎮西26

鹿児島県隊友会を代表して村山副会長と小生は1月15日西部方面隊の案内に基づき方面隊最大の演習である鎮西26演習の研修に参加し、日



現地での訓練状況の説明

出生台演習場に展開している後方地域(高射部隊陣地、空自部隊陣地、師団指揮所、師団段列)を見学した。本研修の感想は、①最近の国外情勢に基づき現法制化の中で、西方を重視した離島防衛(陸・海・空自の統合訓練、米軍との共同訓練)に真剣に取り組んでいた。②対海上陸戦闘部隊を海上輸送により鹿児島港から大分港に上陸、空自高射部隊を日出生台演習場に機動展開、実弾を伴った兵站患者等後送を伴った衛生等極めて実際の・実戦的訓練に努めていた。③陣地見学は、戦闘中との事で第一線陣地が見学できず、後方陣地も外観だけであったのは、残念であった。ただし時程で疲労感があったが、約15年ぶりの日出生台演習場に懐かしさを感じるとともに後輩隊員が、真剣に取り組んでいる姿も真近にしているのが守り、大丈夫であるとの確信を得た。併せて、この真摯で・地味で・力強い戦士の真の姿を鹿児島県民に伝えるのが隊友会の役目である事を再認識した。

河野時彦副会長 記

自衛隊シリーズ 4

奄美通信隊の紹介

天孫光臨の地奄美大島鹿児島市と沖縄県那覇市(740km)のちょうど中間にあり、我が隊は奄美大島本島北部に位置します。島の面積は712km²、沖縄本島、新潟県の佐渡島に次いで3番目に大きな島であります。また、山の最高峰は本島の中央から西側に聳え立つ湯湾岳694mであり春になると桜の名所でもあります。人口は、1市



奄美市防災訓練参加の隊員達

あり、島の方々は思いやりのある優しい方々であります。ここに仁王立ちする大きな円盤型のアンテナがあります。九州本土と沖縄方面とを結ぶ重要な通信中継基地、南西航空警戒管制隊奄美通信隊であります。昭和50年九州と沖縄を結ぶ無線中継所として、西部航空警戒管制団の隷下として編成を完結、3年後の昭和53年に現在の南西航空警戒管制隊に隷属替えとなり平成8年にはO/H回線のアナログからデジタルへと移行するとともに、警戒管制任務に必要な対空無線機など、基地機能が随時整備され現在に至っています。現在、陸自の部隊配備がない奄美大島。しかし重要視されており、防衛

省が南西諸島の防衛力強化の一つとして計画している奄美大島への陸自の部隊配備について、奄美市及び瀬戸内町が昨年8月、受け入れを表明しました。平成30年度末までに整備部隊や地対艦誘導部隊など計550人規模が配備される予定であります。計画が進めば、奄美大島本島において陸海空の統合運用が実現します。空自奄美大島分屯基地は、昨年創立40周年を迎えました。12月6日に40周年記念行事を開催しましたが、当分屯基地はもとより、隊友会、父兄会、奄美大島駐在員事務所、各関係機関の協力・支援等を頂きまして盛会裡に終了致しました。当基地近傍、奄美大島にお越しの際は、お気軽に基地見学にいらして下さい。隊員一同お待ちしております。

総括班長 福田2尉 記

六十周年盛大

鹿児島地本は、今年度創立60周年を迎え、年



鏡割りに臨む本部長(右から2人目)

○ 7月19日、21日 記念自衛隊みなと祭り 鹿児島港北埠頭において3日間約12000人の来場があった。 ○ 9月28日 記念演奏会 第8師団音楽隊による巡回演奏会を実施し、約1500人の来場があった。 ○ 11月22日 記念コンサート

海自佐世保音楽隊によるコンサートを実施し、約670人の来場があった。 ○ 11月23日 記念装備品展示祭り 鹿児島市街地の県有地へトッピー乗り場南側に於いて陸自の装備品を展示広報し約1100人の来場があった。 ○ 11月24日 記念行事 鹿児島市の城山観光ホテルで次の行事を実施した。 ・ 記念式典(感謝状贈呈式・式典)

感謝状贈呈式では、20団体と27個人の方々に感謝状を贈呈した。式典では、本部長が「新たな出発点として部員一丸となり任務の完遂に努める」と決意を述べた。 ・ 記念講演 番匠西方総監に「我が国の防衛と西部方面隊」と題して講演して頂いた。 ・ 記念祝賀会 後援会主催により国会議員等・市町村長等・各協力諸団体・各協力企業・各関係者等約360人

が参加し盛大に実施された。今年度実施した各種行事に際しまして、皆様方のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。 鹿児島地本 総務課長 記

退官に思う



鹿地本 永野哲郎陸曹長

自衛隊生活を振り返ってみると、色々な事が走馬燈のように頭の中を駆け巡ります。

地連の人から「自衛隊に入らんね」と言われ35年。高校卒業を目前にしたある日、この言葉で自衛官への興味を持ちはじめ、入隊を決めました。昭和54年、陸自相浦

駐屯地に教育入隊しました。隊内での規律は厳しく、今までの緩い生活が一気に縮まり、規則正しい生活へと変わりました。教官の指導の下、厳しい訓練一つの事を成し遂げた達成感を同期と共に味わう事ができ、充実した教育を終了する事ができました。

その後、福岡、千歳で偵察を主に部隊勤務を最後に鹿児島地方協力本部に転入しました。部隊と全く違う環境で貴重な経験をさせて頂きました。最後の勤務では35年前に耳にした「自衛隊に入らんね」の職で幕を閉じ

る事が不思議な巡り合わせだったと感じます。35年間、多くの方との出会いがあり、先輩からのご指導、後輩・家族の協力で無事退官できる事に感謝します。これから、一般企業で第二の人生をスタートさせるにあたって、自衛隊で培った経験を活かし、少しでも社会に貢献できよう頑張っていきたいと思っております。 鹿地本 永野陸曹長 記

隊員紹介

川内駐屯地 福田2曹を紹介いたします。

福田2曹は、第8施設大隊第1中隊に所属し、平成23年4月から第4代駐屯地太鼓部リーダーとして活躍しています。太鼓部は昭和60年、川内駐屯地移駐と同時に「がらつば太鼓」として発足。平成12年に「焰児太鼓」と名称を改め、現在、部員25人で駐屯地及び薩摩川内市周辺の行事等の支援を中心とし自衛隊並びに方面音楽祭りへの参加等、活動範囲を広げています。



川内駐屯地に集合した各代表者等

海曹会紹介

鹿屋航空基地海曹会は基地に所属する海曹によって構成されている任意団体であり、「会員の総意に基づく自主活動により、会員相互の親睦、啓発を図りもつて士気の高揚及び教養の向上に資する。」ことを目的として平成4年4月に発足した。今回、「隊友さつま」への投稿の機会を得ましたので、活動の一端(5項目)を紹介したい。

① OPアルミアルミ缶を回収、換金して車椅子を購入し鹿屋市社会福祉協議会へ寄贈。23年度から現在までに7台の成果。② 清掃活動 浜田海岸海がめ産卵場所等4ヶ所実施。③ 児童養護施設「大隅学舎」との交流 クリスマス交流会等の実施。④ 家族支援 地引網体験等の実施。⑤ 他自衛隊との交流 九州内の陸・空自と開隊記念行事等を通じて親睦・相互理解を図っている。今後も会員相互及び他自衛隊との親睦・啓発また地域のために活動していきたい。 事務局長 記

川内駐屯地 福田2曹は、チャレンジ精神旺盛かつ仕事や後輩育成指導にも熱心で、ユーモア溢れる隊員であり中隊のムードメーカー的存在です。先輩達から引き継いだ伝統(太鼓)に懸ける思いが熱く、ひとたびバチを持て



演奏中の8施大1中隊福田2曹

全国の隊友向けに造りあげた一品!!

薩摩本格焼酎 天の輝き「隊友」 隊友会本部推奨



☆そのこだわり
●原料はすべて鹿児島産100%使用
●サツマイモは黄金千貫、麴用コメはひのひかり
●水は吹上浜の天然地下水
◎売上の一部を、鹿県隊友会(本部、支部)へ還元

酒類通信販売 北薩摩本舗
FAX&TEL0996-44-5718
フリーダイヤル0120-58-7085
〒895-1203 薩摩川内市樋脇町市比野2230-3



《業務内容》
◆叙勲受章に際してのトータル的なアドバイス
◆拝謁上京時のご案内
◆叙勲額・大臣表彰額及び特注額の販売
◆叙勲・大臣表彰等各種記念品及び贈答品の販売

※ 叙位叙勲受章のご家族もお電話でお尋ね下さい

たからてんじんどう

株式会社 寶天神堂

鹿児島市伊敷8-3-12 電話: 099-218-4081
HP: http://www.jokun-iino.jp